

キャラクター名

五十 月(いそ るな)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	中学生	カヴァー	中学生
	エグザイル					
オプション	エンジェルハイロウ		年齢	12歳	性別	女
覚醒	生誕	衝動	飢餓		初期侵食率	32%
出自	疎まれた子	経験	心の壁		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	3	0	0			3	行動値	11
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	11
精神	2	0	3			5	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			R C	2		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手(80≤X<100)	白兵	3r+2	1	8		攻+(Lv*2+感覚)
(100≤X<130)	白兵	3r+2	1	10		
		0				
無限ぱんち	白兵	2r+2		8		1+2 侵蝕値4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		天則 浩一	P	N	
		藤林光香	P	N	
		瀬川 凪	P	N	
		教官	P	N	
		橘 陽平	P	N	
		穂積 小春	P	N	
		戦略科生徒A・B	P	N	
		最大財産P:	2	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
シャイニングアーム	2	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：素手データ変更								
原初の赤：天性のひらめき	2	4+1	メジャー	-	-	-	-	
効果：あらゆる判定(戦闘以外)C値-Lv(下限7)								
伸縮腕	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：射程：視界に、判定D-(3-Lv)個								
コンセ：エグザイル	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-Lv(下限7)								
蜘蛛の糸	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：髪の毛や爪などを糸のように伸ばす								
傍らの影法師	1	-	メジャー	至近	自身	効果参照	-	
効果：自分の影を立体化させ、姿を変えて付き従わせる								
EF：代理人格	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：別の人格を生み出す								
天使の絵の具	1	-	メジャー	視界	シ-ン(選択)	自動	-	
効果：光を屈折させ、望む映像を投影								
スポットライト	1	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果：光を屈折させ、任意の場所に光源設置								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

幼い時から身の回りで(レネゲイド由来の)奇怪な現象が生じたため、不気味に感じた両親にお祓いなどを試されるが改善せず、最後には施設に預けられ、UGNに見つけられるまでたらい回しにされていた。

同じ異能を持つ者には受け入れてもらえると思っていたが、正体不明の力(ウロボロスシンドローム)を持っていることが分かると、そこでも不気味な存在として扱われるようになり、周囲に完全に失望。心を閉ざし、外面を装って生きること、上辺だけの関係を築くようになる。

その後、12歳になり、中学に進級する頃、アカデミアを薦められ、自身も人間関係のリセットをしたかったため、了承した。

普段から代理人格を使い、周囲からは人当たりのいい人物だと思われてるが、本当の性格はひねくれ屋で、自己肯定感が低く、本当の自分は誰にも好かれたいと考えている。自身の力について知られることを極度に恐れており、積極的には力を使わない。特に正体不明の力について秘密のままにするためなら手段を選ばない。

好きな食べ物はお団子で、満月の日は屋上で一人で月を見ながら食べる習慣がある。

戦闘時は光る腕を伸ばしてぶん殴る。また、自身の影を立体化して戦わせることもできる。

1、なぜアカデミアに入学したのか※上記参照

2、なぜその学科を選んだのか

→周囲に薦められて、他に適性があるものがなかったから。

3、アカデミアでの目標

→穏やかで平穩に過ごすこと。もし叶うなら、自身の全てを受け入れてくれる本当の友達に出会うこと。

4、あなたが周囲より突出していること

→生き汚さと賢しさ(天使の絵の具による隠蔽と代理人格)

5、未熟なところ

→他者を心から信じられない。